

今日もたべた？本ごはん

とうごうしょうがっこう とうしょかん へいせい ねん がっこう
東郷小学校 図書館だより 平成27年 11月号

めざせ目標冊数！



日だまりが恋しい季節

11月8日は「立冬」です。陽の光が弱くなるとともに、日暮れも早くなり、空気

の冷たさに冬の気配が感じられる頃です。北国では初雪の便りも聞かれます。この

日から立春の前日までが冬とされています。立冬の頃に吹く冷たい強風を「木枯

らし」といいます。東京では10月24日に「木枯らし1号」が吹きました。

さて、11月6日までは、「校内読書月間」です。先月は図書委員会による発表

や親子読書会の方々と先生方による読みきかせ、クイズなど、読書に関するお楽し

みがたくさんありました。「ブックリスト」は冬休みの前まで続けていきますので、

5冊読んだら図書室に持ってきてくださいね。しおりと「もう1さつかりられます

券」がもらえますよ。

お知らせ

011月の図書室お休みの日：毎週火曜日と4・18・30日

★今月のスペシャルデーは20日★



11月の詩

うた



あさ……「きょう」というひが やって来た
ぼくは げんきよく
こんにちほど あいさつして
いっぱいあそんだ
ああ……もう ゆうがただ
「きょう」に さよならしなくちゃ、だ
そらも ほつぺたをあかくして
さよならのうたを うたっている
……「きょう」って あつというまだなあ
だからかな「こんにちには」には
ほんのすこし「さよなら」がまじっている
だからかな みないつも
だれかに あいたくなる
あのゆうやけのあたりに
ぼくの「きょう」の こころを
おいておこう
そして つぎの「きょう」に あうために
とびたとう

きょう

からすえいぞう

工藤直子

『のはらうたく』より

ブックリストと「もう1さつかりられます券」の使い方



★ブックリストについて★

- ① きちんと借りに読みましょう。
- ② 前に読んだことのある本も、もう一度読んでみましょう。
- ③ 5さつ読み終わった人から順に、ひとり1枚「しおり」をプレゼントします。
- ④ 5さつ読むごとに「もう1さつかりられます券」がもらえます。
- ⑤ 冬休みの前まで使えます。

★「もう1さつかりられます券」の使い方★

- ① 1回で2枚まで使えます。
- ② “4さつデー”の日には使えません。
(ただし、夏休みと冬休みは使えます。)
- ③ 春休みの前まで使えます。



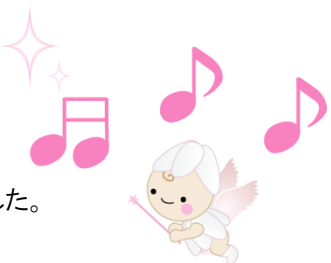
お世話になりました!

私事ではありますが、出産育児のため、11月27日で退職することになりました。
東郷小学校には、4年8ヶ月、お世話になりました。

ふりかえれば、5年前の春、気軽に来てもらえるような、お役に立てる図書室を目指し、本を通して、みなさんの心の成長のお手伝いできれば、と思いやってきました。それがどれくらい実現できたかはわかりませんが……図書室って楽しい!この本おもしろい!また明日も図書室に来よう!と、少しでも思ってくれたらうれしいです。

どんな人との出会いにも意味があるように、どんな本との出会いも、気づきがあり、学びがあります。ときには、自分の考え方を、生き方を、人生を、ガラリと変えてしまうような出会いもあります。本はいつでもあなたのとなりになります。きっとあなたの心の支えとなってくれます。

これからも、たくさんのお本との最良の出会いを願って——。5年間、ありがとうございました!



11月 今月のいいね!

一度は読んでほしい本

今月は、一度は読んでほしい、おすすめの本6冊を紹介します♪



『あのときすきになったよ』
薫くみこ 作/飯野和好 絵/教育画劇

あの子と会ったのはどこだっけ?けんかしたのはいつだっけ?
なんで仲良くなったんだっけ?ちっとも好きじゃなかったのに、好きになったのはなんでかなあ……。
くもりのない目で「すき」になるまでの少女たちの心の交信。



『ミミズのふしぎ』
皆越ようせい 写真・文/ポプラ社

身近だけれど、生態についてほとんど知られていないミミズ。
ミミズには知られざる不思議な世界があった!産卵や食事、越冬など、世界的にもめずらしい、びっくりする写真がいっぱい!
『ここにいるよ!ナメクジ』もおすすめ☆☆☆



『山に木を植えました』
スギヤマカナヨ 作/畠山重篤 監修/講談社

みんな みんな つながっている!葉っぱも 魚も 太陽も
クマも ドングリも テントウムシも カニも トンボも コンブも 地球も クジラも プラクトンも ぼくたちも みんな
みんな つながっているんだ!!
豊かな海を守るために、漁師さんたちがはじめた植林活動。
漁師さんたちの合い言葉は「森は海の恋人」。森と海、人と自然のつながりがわかる1冊!



『はだしのゲン わたしの遺書』
中沢啓治/朝日学生新聞社

原爆で父、姉、弟、妹を亡くした青年は、母の死をきっかけに戦争責任と原爆の問題に向き合う…。
白内障で漫画家を引退し、肺がんをわずらう「はだしのゲン」の著者が、原爆の怖さと不屈の半生を、実体験をもとに語りつくす。



『獣の奏者 I~IV』
上橋菜穂子/講談社

母が指笛を鳴らしたとき、奇跡が起こった。だが、その奇跡を、母は「大罪」と呼んだ……。
決して人に馴れず、また馴らしてはいけない生き物とともに生きる宿命の少女エリンの物語。壮大なスケールで描き出す、異世界ファンタジーの決定版!



『親と子のことば紡ぎ』
植村紀子/南日本新聞社

赤ちゃんにやさしいことばかけをし、大切に育てた人がいたからこそ、人類は繁栄し続けているはず。この本は、古典から現代まで幅広く、詩歌や小説、わらべうたや絵本などの中から、親子に関することばを抜き出し解説しています。

おとなにおすすめ!